

# エコアクション21 環境経営レポート

対象期間：2023年度(2023年5月1日～2024年4月30日)

株式会社 石井組  
令和6年5月8日

## 目 次

1. 事業所の概要 .....	3
(取組の対象組織・活動の明確化)	
2. 環境経営方針 .....	4
3. 環境目標と実績 .....	5
4. 環境活動計画 .....	6
取組内容とその結果 .....	7~10
次年度の環境活動計画 .....	11
5. 実施体制 .....	12
6. 環境関連法規への違反・訴訟の有無 .....	13
7. 代表者による全体の評価と見直し .....	13

# 1. 事業所の概要

## (1) 事業所名及び代表者名

株式会社 石井組

代表取締役 石井 孝典

## (2) 法人設立年月日・資本金

設立年月日 平成 2年 5月 8日 資本金 1,000万円

## (3) 所在地

本社: 徳島県徳島市一宮町西丁1020番地

倉庫: 徳島県徳島市一宮町西丁 490番地

## (4) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者: 石井 孝典 担当者: 乾 清和

連絡先: TEL(088)635-1260 FAX(088)644-0576

<https://ishiigumi.info/>

## (5) 事業活動の内容

土木工事業、とび・土工工事業

許可番号 徳島県知事許可(般-03)第3360号

許可の年月日 令和3年 6月 8日

許可の有効年月日 令和8年 6月 7日

建設業の種類

土木工事業 とび・土工工事業

## (6) 産業廃棄物収集運搬業関係 \*産業廃棄物収集運搬業は自社工事に係るもののみ

許可番号 3600122192

許可の年月日 令和2年 1月 19日

許可の有効年月日 令和7年 10月 12日

取り扱う産業廃棄物の種類

廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

運搬車両の種類と台数

4tダンプ・2台 3tダンプ・1台 2tダンプ・1台 軽トラック・1台 Wキャブ車・1台

ユニック車・1台

計7台

## (7) 事業規模

項目	2020年	2021年	2022年	2023年
売上高(万円)	5,490	11,245	7,250	6,000
従業員数	3(8)	3(8)	3(8)	5(10)
床面積(m <sup>2</sup> )	112	112	112	112

※23年度は概算

( )内は役員含む

## (8) 認証・登録範囲

全組織・全活動・全社員を対象とする

## 2. 環境経営方針

# 環境経営方針

### 基本理念

株式会社石井組は、公共工事・一般土木工事業業務において、  
当社の環境経営方針並びに関係法令に基づき、地球環境に優しい企業経営を目指します。

### 行動指針

当社は事業活動とその製品が与える環境負荷を低減するために、次の方針に基づき、  
環境経営活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 私たちは、次のことについて重点的に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の削減・再利用の促進
- ③ 水資源使用量の削減
- ④ 化学物質使用量の削減
- ⑤ グリーン購入・グリーン調達の推進
- ⑥ 環境に配慮した製品・サービスの提供、施工推進
- ⑦ 会社周辺の清掃等、社会貢献

これらについて環境目標、環境活動計画を定め、定期的に見直しを行い、  
継続的改善に努めます。

2. 私たちは、環境に関連して適用される法令、及び、その他の  
同意する要求事項を遵守します。

この環境方針を全ての従業員に周知します。

制定日 平成22年 11月 1日  
改定日 令和2年 9月 30日  
株式会社 石井組  
代表取締役 石井孝典

□中長期環境目標

項目	2016年	2020年	2021年	2022年	2023年
	基準数値	目標	目標	目標	目標
		-1%	-2%	-3%	-4%
二酸化炭素排出量 (kg-CO2/年)	66805.77	66137.7123	65469.6546	64801.5969	64133.54
電気使用量 (MJ/年)	112347.07	111223.5993	110100.1286	108976.6579	107853.1872
燃料 (MJ/年)	919372.43	910178.7057	900984.9814	891791.2571	882597.5328
一般廃棄物(トン/年)	1.42	1.4058	1.3916	1.3774	1.3632
廃棄物リサイクル率(%/年)	97	案件に応じて	案件に応じて	案件に応じて	案件に応じて
水資源(トン/年)	74	電力換算に変更	電力換算	電力換算	電力換算
グリーン購入の推進(購買数/年)	22	23	24	25	26
地元地域周辺の清掃活動(回/年)	4	4	4	4	4
環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工の推進(%/年)	100	100	100	100	100
車両の燃費(L/km)	6.8	8	8	8	8
低公害車両の比率(%)	100	100	100	100	100

・各年度の削減目標値は2016年度を基準として毎年1%ずつ削減する。

□環境目標と環境負荷の実績結果 (2023年5月1日～2024年4月30日)

令和6年5月8日

項目	単位	環境目標(a)	実績(b)	達成度(b/a)	達成・未達成
①二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	64133.54	51341.67	80.05%	達成
② 電気使用量	MJ/年	107853.19	39027.6	36.19%	達成
③ 使用燃料	MJ/年	882597.53	676860.515	76.69%	達成
④ 一般廃棄物	t	1.3632	3.60075	264.14%	未達成
⑤ 産業廃棄物	マニフェスト等での 適正処理・再資源化 %	案件に応じて	100% 指定処理	100.00%	達成
⑥ 水資源	t/年	地下水汲上げ で電力換算	使用に大きな 変化なし		—
⑦ グリーン購入の推進	再生資材の調達 環境配慮事務用品の購入 購買回数	26	26	100.00%	達成
⑧ 地元地域周辺の清掃活動	回/年	4	6	150.00%	達成
⑨ 環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工の推進	%/年	100	100	100.00%	達成
⑩ 車両の燃費	L/km	8	8.56	107.00%	達成
⑪ 低公害車両の比率	%	100	100	100.00%	達成

□環境目標と環境負荷の実績結果に対する評価

・今年度より電気の調達先を変更したことにより、排出係数が下がった。またコロナによるリモート勤務などで電気使用量自体も下がっている。リモート勤務の拡大は環境的にも良いかもしれない。

# 環境活動計画の取組結果とその評価

令和6年5月8日

## (1) 令和5年度 環境活動実施計画書・評価

達成状況: ◎十分にきている ○ほぼきている  
△まだ不十分である ×できていない

重要テーマ	具体的項目	担当者名	実施スケジュール												達成状況			
			5月	6月	7月	令和5年			令和6年			1Q	2Q	3Q	4Q			
環境活動計画 炭酸ガス排出量削減 (電気使用量の削減)	冷房を下限28℃、暖房を上限20℃に設定する	石井 孝典	→			→			→			○	△	○	△			
	照明機器、エアコン、窓の掃除をこまめにする		→												○	○	○	○
	使わない機器のコンセントを抜いておく		→												○	○	○	○
	残業時間を減少する		→												○	○	◎	○
炭酸ガス排出量削減 (燃料使用の削減)	休憩時間は工場及び事務所の消灯を実施する	石井 大造	→												○	○	○	○
全車両・建設機械のアイドリングストップの徹底を行う	→												○	○	○	○		
浄水使用量の削減	必要のない荷物の積載排除	比嘉 性一	→												○	○	○	○
廃棄物排出量の削減	こまめに蛇口を閉める	乾 清和	→												○	○	○	○
	廃棄物のリサイクル率向上		→												○	○	○	○
	マイ箸・マイカップ・マイ水筒運動の推進		→												△	△	△	△
	事務用紙のミスコピーを減らし、両面コピーの推進		→												◎	◎	◎	◎
グリーン購入の推進	書類の電子化の推進	石井 紀美恵	→												○	○	○	○
	節電グッズを進んで購入		→												○	○	○	○
環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工の推進	エコマーク商品を進んで購入	石井 大造	→												○	○	○	○
	低騒音型重機の使用		→												◎	◎	◎	◎
	工事着工前、近隣住宅への事前説明の徹底		→												◎	◎	◎	◎
車両のエコドライブを実施し省エネと排気ガスの抑制	生物多様性の保護にも配慮した施工	石井 大造	→												○	○	○	○
	作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図る		→												○	○	◎	○
その他	エコドライブ等運転方法の配慮(急発進、急加速や空ぶかしの排除)を励行	全社員	→												○	○	○	○
	社内の5S活動を推進する		→												○	○	○	○
	会社周辺の清掃美化活動を推進する		→												○	○	○	○
	環境保全勉強会の実施		→												△	○	○	○

### 取組内容

- ・昨年度からの環境目標項目を再度重点的に取り組む。
- ・各時季ごとの達成状況採点を○以上になるよう努力する。
- ・クラウドサービスの活用などにより、業務効率をあげ無駄な出社・残業を減らす

## (2)取組内容とその結果

### ①二酸化炭素排出量

項目	年度	2016年度	2023年度	2023年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
温室効果ガス排出量		66805.77kg-CO2	64133.54kg-CO2 (-4%)	51341.67kg-CO2	19.95%減

#### 具体的な取組内容と評価理由

##### 【取組内容】

- ・エコドライブの実践
- ・電力供給会社の変更(今年度より通年)
- ・作業重機のアイドリングストップ励行

##### 【評価】

電力供給会社を変更し、クリーンな電力購入となり排出係数が下がった。  
今年度は鳴門・池田・海陽等の遠方現場が多く、燃料使用量は増えた。  
池田では宿泊利用などで無駄な移動を抑えたのはよかった。

### ②電気使用量

項目	年度	2016年度	2023年度	2023年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
電力使用量		112347.07MJ	107853.19MJ (-4%)	39027.6MJ	63.81%減

#### 具体的な取組内容と評価理由

##### 【取組内容】

- ・事務所不在時及び休憩時の消灯
- ・冷暖房の目標設定温度を決めた。

##### 【評価】

コロナによるリモート勤務が減った分もあり、電気使用量は微増した。  
今後、電子機器使用が増えていくので、節電の呼びかけも必要と思われる。

### ③使用燃料

項目	年度	2016年度	2023年度	2023年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
使用燃料		919372.43MJ	882597.53MJ (-4%)	676860.515MJ	23.31%減

#### 具体的な取組内容と評価理由

##### 【取組内容】

- ・必要のない荷物の積載排除。
- ・全車両・全重機アイドリングストップ。

##### 【評価】

今期間中、鳴門・池田など遠方現場が多かったため、昨年比では軽油使用は増加した。ただ池田の現場で宿泊対応を取ったため、全期間通いで施工した場合よりは大幅に削減できていると思われる。

④一般廃棄物

項目	年度	2016年度	2023年度	2023年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
一般廃棄物		1.42t	1.3632t (-4%)	3.60075t	264.14%増

⑤産業廃棄物

項目	年度	2016年度	2023年度	2023年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
産業廃棄物		97%	案件に応じて 適正処理	案件に応じて 適正処理	—

令和5年度 産業廃棄物再資源化率

産業廃棄物最終処分		産業廃棄物再資源化率
該当なし	0t	$3.96/3.96 \times 100$  <b>100.00%</b>
産業廃棄物再生利用		
コンクリート・アスファルト殻	3.72t	
木くず	0t	
廃プラスチック 他	0t	
建設混合廃棄物	0.24t	

具体的な取組内容と評価理由
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裏紙等を利用、FAX・郵送よりもメール多用などで上ごみ廃棄を減らす</li> <li>・資材置場に産業廃棄物の仮置きをできるだけ避け、発生現場から処分場へ直接搬送することを指示した。</li> </ul> <p>【評価】</p> <p>今年度の元請工事は維持管理系がほとんどで、解体系の産廃がほとんどでなかった。なお除草枝葉を一般廃棄物として捨てるよう指定された案件があり例年と比べ一般廃棄物量が激増している。再利用される産廃処理が望ましいが…</p>

⑥水の使用量

項目	年度	2016年度	2023年度	2023年度	削減率
	基準年度	基準年度	目標	実績	
上水使用量		100t	電力換算		—

具体的な取組内容と評価理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下水のみの使用となっており、ポンプの電力換算にての評価とする。</li> <li>・河川や水路など現場で水が採取できる場合はなるべく現地採取し、電気を使わないよう心がけた。</li> </ul>

⑦グリーン購入の推進

項目	年度	2016年度	2023年度	2023年度	結果
		基準年度	目標	実績	
グリーン購入回数		22回	26回	26回	達成

具体的な取組内容と評価理由					
・通販サイトで備品を購入する際は「グリーン購入法適合」で絞り込む					
【評価】 再生紙などどうしても割高になるので、コピー作業の削減や両面使用などより効率的な使用を呼びかけたい。					

⑧地元地域周辺の清掃活動

項目	年度	2016年度	2023年度	2023年度	結果
		基準年度	目標	実績	
清掃活動		4回	4回	6回	達成

具体的な取組内容と評価理由					
・一宮城址の清掃ボランティア参加(1回) ・子ども会のじんぞく狩り設営(1回)					
・OURロードアドプトの実行(年3回) ・一宮会館下の除草(1回)					
【評価】 積極的に行いたいのが、日曜開催分など、ボランティアとはいえ働き方改革に逆行する部分もあるので、従業員とのコンセンサスも重要である。					

⑨環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工の推進

項目	年度	2016年度	2023年度	2023年度	結果
		基準年度	目標	実績	
環境配慮		-	100%	100%	達成

具体的な取組内容と評価理由					
・着工前の近隣施設への工事説明					
・低騒音型の重機の使用、発電機も小型で低騒音タイプのものを使用した					
・除草工では4サイクルエンジン機の使用など					
【評価】 年間を通じ工事に対する苦情等はなかった。 次年度も環境配慮、近隣施設への気配りを徹底する。					

⑩車両の燃費

項目	年度	2016年度	2023年度	2023年度	結果
		基準年度	目標	実績	
車両燃費		6.8	8.0	8.56	達成

具体的な取組内容と評価理由					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要のない荷物の積載排除、アイドリングストップの徹底</li> <li>・より低燃費な車両の導入</li> </ul>					
<b>【評価】</b> 車両構成的には変わらないので燃費自体も変化なし。 遠方現場は宿泊対応や直行直帰など、無駄な移動を削減していきたい。 また3tダンプが20年経過とそろそろ買い替え時期ではある。 型式も2世代前であり、燃費の良い車両に買い替えることも検討したい。					

⑪低公害車両の比率

項目	年度	2016年度	2023年度	2023年度	結果
		基準年度	目標	実績	
比率		100%	100%	100%	達成

具体的な取組内容と評価理由					
全車両が低燃費型の車両となっている。					
<b>【評価】</b> 引き続き買い替えが発生する場合は、より省燃費のモデルを検討する。					

# 環境活動計画

## 次年度(令和6年度)の主な取組内容

達成状況:◎十分できている ○ほぼできている  
△まだ不十分である ×できていない

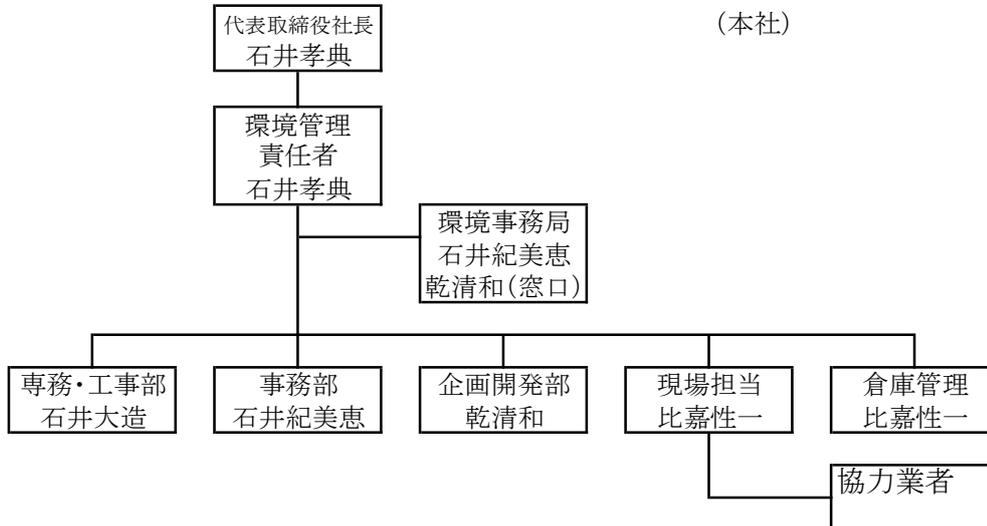
重要テーマ	具体的項目	担当者名	実施スケジュール												達成状況						
			5月	6月	7月	令和6年			10月	11月	12月	令和7年			1Q	2Q	3Q	4Q			
環境活動計画 炭酸ガス排出量削減 (電気使用量の削減)	冷房を下限28℃、暖房を上限20℃に設定する	石井 孝典	→			→			→			→									
	照明機器、エアコン、窓の掃除をこまめにする		→																		
	使わない機器のコンセントを抜いておく		→																		
	残業時間を減少する		→																		
炭酸ガス排出量削減 (燃料使用の削減)	全車両・建設機械のアイドリングストップの徹底を行う	石井 大造	→			→			→			→									
	必要のない荷物の積載排除		→																		
浄水使用量の削減	こまめに蛇口を閉める	比嘉 性一	→																		
廃棄物排出量の削減	廃棄物のリサイクル率向上	乾 清和	→			→			→			→									
	マイ箸・マイカップ・マイ水筒運動の推進		→																		
	事務用紙のミスコピーを減らし、両面コピーの推進		→																		
	書類の電子化の推進		→																		
グリーン購入の推進	節電グッズを進んで購入	石井 紀美恵	→			→			→			→									
	エコマーク商品を進んで購入		→																		
環境に配慮した製品・サービスの提供並びに施工の推進	低騒音型重機の使用	石井 大造	→			→			→			→									
	工事着工前、近隣住宅への事前説明の徹底		→																		
	生物多様性の保護にも配慮した施工		→																		
車両のエコドライブを実施し省エネと排気ガスの抑制	作業時間や待機時間、走行距離の短縮化を図る	石井 大造	→			→			→			→									
	エコドライブ等運転方法の配慮(急発進、急加速や空ぶかしの排除)を励行		→																		
その他	社内の5S活動を推進する	全社員	→			→			→			→									
	会社周辺の清掃美化活動を推進する 環境保全勉強会の実施		→																		

## 取組内容

- ・昨年度からの環境目標項目を再度重点的に取り組む。
- ・各時季ごとの達成状況採点を○以上になるよう努力する。
- ・クラウドサービスの活用と宿泊対応などで、業務効率をあげ無駄な出社・残業を減らす

5. 実施体制

**実施体制図及び役割・責任・権限表**



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標、環境活動計画を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標、環境活動計画を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行、訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 6.環境関連法規への違反・訴訟等の有無

当社の事業活動に適用される法規等

法規等の名称	内容・基準等	遵守状況
環境基本法	環境基準・環境負荷の低減の促進	○
グリーン購入法	できる限り環境物品を選択する	○
地球温暖化対策の促進に関する法律	事業活動及び日常生活に関し、温室効果ガスの排出の抑制のための処置を講ずるよう努める	○
エネルギーの使用の合理化に関する法律	作業員の輸送に係るエネルギーの使用の合理化に資するよう努める	○
環境配慮型事業促進法	事業者は事業活動に係る環境情報の提供に努める	○
資源の有効な利用の促進に関する法律	一般廃棄物の中で、再生可能な品目のリサイクルの促進	○
建設リサイクル法	建設4品目の分別と再資源化	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	収集運搬に関するマニフェストの適正処理	○
騒音規制法	建設現場での機械使用時に適用	○
振動規制法	建設現場での機械使用時に適用	○
大気汚染防止法	自動車排出ガスによる大気汚染の防止を図る	○
土壌汚染対策法	当該土地の形質の変更に着手する14日前までに、都道府県知事に届け出する	○
徳島県・地球温暖化対策推進条例	事業者は地球環境の保全に関する高い意識を持ち温室効果ガス排出の抑制を積極的に進める。	○
徳島県生活環境保全条例	土壌の汚染及び水質の汚染の発生を未然に防止する	○
徳島市環境基本条例	資源の循環的な利用、環境への負荷の低減に努める	○
フロン排出抑制法	フロン類の適正処理、点検など	○

運用期間中における環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

関係機関、地域などからの指摘、訴訟等も過去3年間ありません。

運用期間中における関係機関、地域からの違反、指摘などありません。

## 7.代表者による全体の評価と見直し

今年度は池田・鳴門・海陽など遠方の現場が多かった。

しかし池田では2工事重なったこともあり、宿泊対応を取ったことで宿泊経費はかかったが、無駄な車両移動は抑えられた。

今後、働き方改革によって残業時間の規制も厳しくなることから宿泊や直行直帰など、時間ならびに移動・燃料消費の効率化を図る取組みが必要である。

なお社員が増えて役員含め常勤10名体制となった。

総体としてエネルギー使用量の増加はやむを得ないが、より個々の意識を高めて環境負荷を軽減していきたい。